



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第1638回(22)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇

クラブ会長テーマ



「 明るく楽しくみんなで奉仕 」

日 時	2026 年 1 月 20 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メ ー ク ア ッ プ 情 報 (来週分) メ ー ク ア ッ プ 情 報 (再来週分) 今 後 の 行 事 予 定 ク ラ ブ 活 動 報 告



**UNITE
FOR
GOOD**

【 会 長 報 告 】



皆様、こんにちは。 1 月も早くも後半に入りました。仕事始めの喧騒が落ち着き、ようやく本腰を入れて今年の目標に向かわれている頃ではないでしょうか。

今月は**「職業奉仕月間」**です。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、職業を「奉仕への道」と考えました。私たちはそれぞれ異なる専門性を持っていますが、その専門知識や技術を、単なる利益追求だけでなく、倫理的に、そして社会のために役立てること。これこそが、ロータリーの原点です。

「四つのテスト」を今一度思い出し、今日の商談、今日の決断が、誰かのためになっているか。そんな視点を持つことが、自分の会社をより良くする第一歩になると思います。

今日の卓話は、年男年女の新春放談です。

午年の人の基本的な性格は、明るく元気で行動的というものです。

猪突猛進と言われるイノシシほどではないにしても、馬も走り出したらなかなか止まらず、突っ込んでいくところがあります。

これだ、と思ったらまず動き出すという、素晴らしい行動力の持ち主です。

また、人見知りせず積極的に声をかけていくことができる社交家なので交友範囲も広く、人気者です。

明るく元気で、いざという時にはすぐ動ける性質は当然愛されるからです。

しかもおしゃべり上手の聞き上手なため、人から相談を受けることも多いでしょう。

また、責任感が強く、一度引き受けた仕事は最後まで頑張り通します。

同時に独立心も強いので、誰かに丸投げしたりしない誠実さも魅力的です。

ただ、時折自分の目の前のことだけに集中しすぎて気づけば自分 1 人、なんていうこともあります。

【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・韓国 3690 地区 地区大会のご案内 ・2026 年台北国際大会 RI 理事主催親善朝食会のご案内 ・台北国際大会 登録状況のお伺い 及び ガバナーナイトのご案内 ・2024-25 年度地区活動報告書の送付 ・ローターアクト賛助金ご寄付のお礼
2	米山記念奨学会より ・ハイライトよねやま
3	三原中央 RC より ・第 18 回「ひまわりの会」へのお誘い
4	G10 ガバナー補佐 濱田雅文様、G11 ガバナー補佐 橋本慎吾 様より ・2025-26 年度 G10・G11 合同 IM 開催に伴う事前アンケートご協力をお願い

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】



《 年男・年女 新春放談 》



昭和 29 年生れ

尾熊 孝典 さん

私は昭和 29 年 11 月 12 日生まれの 72 歳で、午年の年男です。

本日は、年男の抱負を話さなければならぬのですが、ここ数年私が考えてきたことを話させていただきます。

60 歳の年男の時は、理事以上の役を 20 近くも受けて忙しくしていました。家で食事をするのも 2 日/週位しかなかったように覚えています。クラブにおいては創立 25 周年の会長を受けた年でした。幹事だった藤井啓之君が、心臓の病気で記念式典を前にして 3 ヶ月間休まなければならなくなった時はどうしようかと思いましたが、記念行事の実行委員長をやってもらった登里さんと事務局の三ヶ島さんには本当に助けられたことを覚えています。

48 歳の年男の抱負でも話しましたが、我が家は、代々男は長生き出来ない家系です。祖父は私が生れる前に 55 歳で亡くなっており、父も平成 3 年（私が 36 歳の時）に 67 歳で亡くなりました。私は既に二人の年齢を超えましたが、血圧と血糖値が高く薬を飲んでおり、3 年前には前立腺癌が見つかり 1 ヶ月入院して放射線治療を受けました。そんなこともあり、65 歳になったらすべての役職から降ろしてもらい、新たな役も受けないということを決めました。色々迷惑をかけていることもわかっていますが、理解して欲しいと思います。現在もどうしても降ろしてもらえない理事以上の役職が 5 つ残っており、東京出張、大阪出張が毎月あるなど忙しくしています。

現在、私がやらなければならないこと、やりたいと思っていることが 4 つあります。

① 息子に社長を譲ること

東京で弁護士をやっている息子が、昨年 4 月から毎月 1 週間だけ帰ってきて、私の会社の勉強をしていますが、私が完全に引退出来る日がいつになるのか？ 私は 75 歳で完全に引退しようと思っていましたが、かなり遅れそうです。

② 孫との楽しい時間を過ごすこと

私は祖父（私が生まれる前亡くなったため）に遊んでもらったことがありません。私の長女以外

の子ども二人も祖父（私の父）のことを知りません。私は、もうしばらく元気でいて、現在二人いる孫の良い”じいじ”でありたいと思っています。

③ 大好きな趣味の魚釣りに行きたい時に行くこと

腰が痛いのとスコアも悪くなったので、ゴルフは断れない時だけ行くことにしました。潮が良く天気の良い日に魚釣りに行くことができるようになるのが、今の私の夢です。

④ 孫が早稲田大学を卒業するまで生きていたい

早稲田大学は 3 代続けて卒業すると大隈講堂に名前が刻まれるということを聞いたことがあります。私と息子は早稲田大学を卒業しました。したがって、孫が早稲田大学を卒業したら、その栄誉を受けられます。それを夢見ていますが、あと最低 20 年は必要です。これは多分難しいでしょうね・・・

60 歳の還暦の年から毎年人間ドックを受けていたおかげで前立腺癌も早期に見つかり適切な処置が出来ました。これからいろいろな病気が見つかるでしょうが、出来るだけ健康で長生きして、やりたいことをやっていきたいと思っています。

以上で私の話は終わらせていただきます。



昭和 41 年生れ

鹿内 要秀 さん

還暦を迎えて —60年の人生の歩み

令和八年、丙午の歳に還暦という大きな節目を迎えることができました。皆様には温かなお祝いをいただき、心より感謝申し上げます。前回の年男であった四十八歳の折にはさほど意識もしませんでした。こうして六十年の節目に立ちますと、これまでの道のりに深い感慨を覚えずにはられません。

改めて自分の六十年を振り返り、真っ先に思い浮かぶのは「移動」の多さです。住民票の異動だけでも十二回、修行や留学などの短期滞在を含めれば、数えきれないほどの場所を渡り歩いてまいりました。まさに「落ち着きのない人生」を体現してきたように思います。

私の人生の原点は、母と姉との母子家庭にあります。生まれるわずか九日前に父を亡くし、農家の広い土地に建てたアパート経営で生計を立てておりましたが、暮らしは決して楽ではありませんでした。長男として「一日も早く自立し、家計を助けたい」という一心で専門職の高校へ進学しましたが、卒業間際にプラザ合意による円高不況が到来。急遽、進学へと舵を切ることとなりました。

大学時代は、日蓮宗の寺院へ住み込み、働きながら学ぶ日々を選びました。朝四時に起床し、夜十二時に就寝する。休みの一日もない四年間でしたが、その甲斐あって学費と生活費を自ら賄い、親への入学金も一年で完済することができました。

卒業後は本田技研工業（ホンダ）への就職を志していましたが、周囲からの強い期待と勧めに抗えず、そのまま仏道に残ることとなりました。二十六歳で結婚、二十七歳で国の重要文化財である寺院の別当に就任。そして三十四歳の折、再び周囲の後押しを受ける形でここ福山の地へ参りました。気づけば福山での生活も二十六年を数え、私の人生で最も長く腰を据えた、第二の故郷となっております。

寺門に入り四十二年、お寺という場所はどこにいても年中無休でございます。その中で、正当な理由を持って外の世界の空気に触れられる場所、それが私にとってのロータリークラブの例会です。私にとって例会は、単なる集まりではなく、心身を解きほぐすかけがえのない「息抜きの場」となっております。還暦を迎え、また新たな心持ちで皆様と共に歩んで参りたいと存じます。会員の皆様におかれましては、今後とも末永いお付き合いを賜りますよう、改めてお願い申し上げます。



昭和 41 年生れ

塩川 裕樹 さん

1月30日で満60才（還暦）になります。

以前は年男新春放談は赤いちゃんちゃんこを着て記念写真を撮るイメージでしたが最近はありませんね。還暦（かんれき）は、甲子（きのえね）」から始まり、60年経つと元の干支に戻ります。還暦は「生まれた年の干支に戻る年」であり、「第二の人生の始まり」だそうです。

そして2026年は十二支で「午（うま）」、干支では「丙午（ひのえうま）」の年です。丙午は60年に一度巡ってくる特別な年で、「丙」は火の陽を表し、情熱やエネルギーを象徴します。

「午」はスピード感や行動力を意味し、丙午の年は新しい挑戦や積極的な行動がカギになる年といわれています。「60年に一度」と聞くと、チャンスを逃さない1年になりそうですね！2026年は「挑戦の年」。情熱を燃やし、積極的に動くことで大きな飛躍が期待できます。丙午のエネルギーを最大限に活かす一年にしたいと思います。

昨日、高市総理大臣が1月23日に衆議員を解散し2月8日（日）投票と正式に発表がありました。私は町内会で事務局長をしていますので公民館（投票所）の管理もしています。1月10日（土）夜の町内会の役員会で町内会長が「なんか衆議院選挙があるみたいだな？」といわれましたが私は全然知りませんでしたので驚きました。

よく聞くと福山市の選挙管理委員会より町内会長宛てに連絡があり2月7日（土）、8日（日）2月14日（土）、15日（日）を選挙で使うので予定しておいて欲しいと連絡があったそうです。前日に読売新聞のネットニュースが発端なのか総務省から具体的な指示もあったようです。私達役員は選挙会場の立ち合い人もしていますので選挙があった場合の人選もすぐ行いました。

また毎年、代議士の国政報告会に参加しています。今、政治がどのような方針で進んでいるか関心があるからです。その中で何点か改正がありました。

1. 中小受託取引適正化法（取適法）

2026年1月から下請法が改正され、「中小受託取引適正化法（取適法）」として生まれ変わります。これまでは「下請け」というだけで無理難題を押し付けられてきました。原材料費が上がっても価格転嫁は許されず、今後は一方的な価格決定が禁止され、手形払いが廃止される。いわゆる「下請けいじめ」が大幅に減り、資金繰りも大きく改善されるのではないかと思います。立場の弱い受託側が、本当に堂々と値上げ交渉を切り出せるのか。委託側（親会社）の意識改革も必要だしコストカットのしわ寄せを受託側に回すだけの経営が無くなるか注目していきたいと思います。

2. 食事補助の非課税枠上限の引き上げ

食事補助は、一定の条件を満たすことで非課税枠を活用できます。その上限は1984年以来42年にわたり3,500円に据え置かれていました。今回の改正でこの上限について、ほぼ倍増となる7,500円まで引き上げられます。

1食あたり300円以下から650円以下へと引き上げる案が盛り込まれました。この改正は、物価高騰により従業員の生活費負担が増大している現状を踏まえ、政府が企業の福利厚生充実を後押しする姿勢を示したものです。

3.働き方改革

40時間を超える労働の法的根拠は、労働基準法に定められた「法定労働時間」に関わるものです。原則として、使用者は労働者を1日8時間、週40時間を超えて労働させてはならないとされています。36協定を結んだ場合は残業時間の上限は、月45時間・年間360時間までです。月45時間なら、出勤日数が25日ある場合、本来の労働時間に加えて毎日約2時間残業している計算です。

現在、従業員、中小企業の正当な権利が守られる本来の形になりつつあり大変良いことだと思います。しかし従業員の立場を守り過ぎるが故に建設業、運送業など申告な人手不足になっています。これは労働基準監督署の運用方法に問題もあるようです。

先日、ニデック（日本電産）の創業者が粉飾決算の疑いで責任をとり代表者を辞任しました。色んな記事を見えていますと創業者の永重さんの熱意と執念の経営理念は「ぐやる 必ずやる できるまでやる」です。

現在の社会では一歩間違えればハラスメントになりますが 私は誰かから教えてもらった訳でもありませんが気が付いたら実行してきました。私は仕事、ロータリー、地域活動の全てにおいて一番大切考え方だと思っています。人から頼まれたことは責任をもって成し遂げるためにこの考えはあたりまえのことではないかと思いますし大変共感できます。

最後にこれからも自分のため家族のためお客様のためそして地域社会のお役に立てる様頑張っていければと思います。



平成2年生れ

松下 享平 さん

本日はお時間をいただきありがとうございます。今年私は36歳、年男を迎えました。

36歳という年は、若さだけで突っ走る時期を少し過ぎて、「どう生きるか」「何を残すか」を真剣に考える年齢だと思っています。

私は現在飲食店経営をメインに仕事をしています。正直ここまで順調なことばかりではありませんでした。うまくいかないことの方が多く、悔しい思いや眠れない夜もたくさんありました。それでもここまで続けて来れたのは支えてくれる家族、仲間、スタッフ、そしてお客様がいたからだ。とこの年になって強く感じています。

今年の抱負は「守る経営」と「攻める経営」を両立させる1年にすることです。

これまではがむしゃらに前だけを見て走ってきました。今年はそこにもう一つ「人を育てる」「信頼を積み重ねる」という視点を加えたいと思っています。

飲食店は提供するものだけではなく、そこで働く人の表情や、空気感がそのままお店の価値になる仕事です。だからこそ今年はスタッフ一人ひとりが胸を張って働ける環境を、より本気で作っていきます。

そしてもう一つ、年男として自分自身にも挑戦を課す年にします。

年齢を言い訳にせず新しいことに挑み、失敗を恐れず「まだまだこれからだ」と言える 36 歳でありたいと思っています。

今年 1 年、関わる全ての人に「一緒に居てよかった」「このお店に来てよかった」と思ってもらえる存在になること、それが私の最大の目標であり年男としての抱負です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



平成 2 年生れ

菅田 大地 さん

株式会社ライカンの菅田です。本年度もよろしくお願いいたします。

年男新春放談と言うことで明るいお話ではないのですが、年明けに母型の祖母が亡くなりました。89 歳でした。

亡くなる直前まで、自分でお風呂に入ってご飯も食べておりましたが、イスから転んで足を骨折してから生きる気力が遠かったかのように衰退し、怪我をしでわずか 10 日ほどで亡くなりました。家族、親族が亡くなる経験を初めて体験し生きることや仕事をする意味を改めて考える機会となりました。

「人生の終わりには、富ではなく愛に満ちた思い出だけが残る、物質的なものは失っても取り戻せるが、失って取り戻せないものは『人生』そのものだ」

スティーブ・ジョブズの有名な言葉です。一度きりの人生なので、年男だから今年一年頑張るだけでなく日に日に進歩してまいりたいと思います。

午年は「勢い・行動力・勝負運」の年だそうです。

まだまだ動ける年齢なので質より量で経験値をたくさん蓄えていこうと思います。

ロータリー活動としては、奉仕という活動はさまざまな形があると思いますが、ロータリアンでしかできない奉仕活動等積極的に参加していきます。

電気工事という仕事を過程に、仲間とのつながりを大切にしながら、楽しく実りある一年にしたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

【その他報告】



《各種表彰等》

【慶事のお祝い】



《喜寿お祝い》 佐藤 教夫 さん ・ 内山 春夫 さん
《還暦お祝い》 鹿内 要秀 さん ・ 塩川 裕樹 さん

【皆出席】



《通算31年 登里 孝司 さん》

【 クラブ 活 動 報 告 】



特にありません。

**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ